

## 第5回 大和川流域水害対策協議会 議事概要

開催日時：令和6年1月31日（水） 14:00～15:30

開催場所：ホテルリガーレ春日野（飛鳥の間）

出席者：近畿地方整備局（局長、建政部長、河川部長）、奈良県（知事、危機管理監、水循環・森林・景観環境部次長、食と農の振興部次長、県土マネジメント部長、地域デザイン推進局長）、自治体（奈良市建設部長、大和高田市市長、大和郡山市都市建設部長、天理市長、橿原市都市マネジメント部長、桜井市都市建設部長、御所市長、生駒市建設部長、香芝市長、葛城市長、平群町長、三郷町環境整備部長、斑鳩町長、安堵町長、川西町長、三宅町長、田原本町長、高取町長、明日香村長、上牧町長、王寺町長、広陵町長、河合町長、大淀町建設環境部長）、近畿農政局地方参事官、近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所長、近畿地方環境事務所長、近畿財務局 奈良財務事務所長、奈良地方気象台長、奈良県防災士会理事長

### 〈議事概要〉

大和川における河川事業の整備状況や雨水貯留浸透施設等の整備状況、奈良県平成緊急内水対策事業の整備状況、土地利用対策（区域の指定）、雨水貯留浸透施設整備計画の認定について説明を行い、意見交換を行った。

主な意見は以下のとおり。

### ○流域水害対策計画の実施に係る取組状況等の共有

#### 〈御所市長〉

- ・ 最上流部の町としても下流のために貯留すべく、目標値の62%まで進んでいるところ。昨年完成した今住地区の調整池では今年度の6月出水でも浸水被害を軽減でき、地元も効果を確認できたこともあり、予算制約やため池の老朽化、水利権の問題などあるが、治水協力を促進していきたい。上下流において、治水の温度差を是正しつつ、県の力添えをいただき、各市町村は主に貯める対策、国や県は流す対策の両輪で進めていくことが重要であると考えている。

#### 〈広陵町長〉

- ・ 調整池や水田貯留など地元、農業組合と調整し、協力して工事も進めており、特定農業推進地域でも水田貯留を踏まえた圃場整備も進めている。平成緊急内水対策事業として3か所で工事を進めているが、今年度の6月出水でも掘削したことで貯留することができ、地元にも効果を理解いただいている。また、ため池の治水利用について国にも調査をお願いしており、引き続き、治水対策に取り組んでまいりたい。

#### 〈奈良市長（代理）〉

- ・ ため池の治水利用を調整しているが、ため池に代わる農業用水の代替確保が難しく、事業に理解いただけているところから進めているのが現状。

#### 〈桜井市長（代理）〉

- ・ 桜井地区など浸水常襲地域を重点的に整備することとしており、工事進入路の用地取得に鋭意取り組んでまいります。ため池の治水利用なども地権者不明などで進んでいないが、ハザ

ードマップの更新や内水ハザードマップの作成など進めているところ。大和川の上流部として、引き続き重点施策として取り組んでまいりたい。

#### <上牧町長>

- ・ 町内の地盤が高く、河川より高い位置に農地等もあるため、ため池貯留の治水利用にむけた調整をしているが、工事の疑義が多く、地元対応に苦慮しているものの、3月末には2つの調整池工事が完了するため、進捗自体は87%までであり、令和7年度には113%に到達する見込み。町内では耕作放棄地に貯留するなども含めて取り組んでまいりたい。

#### <天理市長>

- ・ 貯留施設整備としては、ため池活用が費用対効果も高い。庵治池では、吉野川分水もあるため、ため池の容量をすべて治水利用することで地元と調整し、0.9億円でリーズナブルに事業を進めている。特に市内のプロジェクトチームに地元も一緒に入り、全体として地域をどうするかという議論を進め、地元も一緒になって進めている。

#### <葛城市長>

- ・ 整備進捗について、昨年より0.8万m<sup>3</sup>の進捗があり、140%まで進んでいる。ため池活用は安くできる。ただ、昨今の線状降水帯に対応するためには不足するため、市内でも10万m<sup>3</sup>は貯留が必要。さらに貯留していくためにはしっかり補助をお願いしたい。また遊水地整備などでは、災害対策等での平時利用も考慮した整備を進めることで進みやすくなるのではないかと認識している。

#### <知事>

- ・ 各市町で工夫しながら進めてもらっている。国と協力して最大限支援していきたい。また民間企業にも協力をお願いしたい。

### ○流域水害対策計画の実施に係る検討

#### 1) 土地利用対策（区域の指定）について

- ・ 意見なし。

#### 2) 雨水貯留浸透施設整備計画の認定について

- ・ 意見なし。

### ○総括

#### <知事>

- ・ ハード対策は時間もお金もかかるが、ソフト対策となる区域指定はお金がかからず、時間も早く対応ができる。ただし地域の同意や合意形成が必要となるため、市町村においては引き続き協力をお願いしたい。

#### <局長>

- ・ 流域全体で対策を進めていくことが確認できた。今後ともより一層連携を強化しながら実効性ある流域対策を進めていきたい。

以上